

この子らと

令和7年11月号

命輝く子ども

人形劇



わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

秋の夜長

運動会が感動の中で終わりました。初デビューの0歳ひよこ組,こあら組,りす組,ばんだ組,きりん組,年長ぞう組,すべての学年の子どもたちに心の成長を感じた一日でした。

年長ぞう組の子どもたちにとっては最後の運動会,本園のリーダーとしての責を背負っての運動会,みごとにその責を果たしてくれました。

そして,子どもたちは感じたと思います。これまでの練習でともに頑張り,励まし合ったお友達のこと,先生方のこと,みんなで創り上げた運動会だということを,支え合い助け合うことの楽しさを。



私たちはみんな,互いに助け合いたいと思っている。人間とはそういうものだ。相手の不幸ではなく,お互いの幸福によって生きたいのだ。(チャーリー・チャプリン)

他人に対しても自分に対しても親切であること,人の生きるのを助け,自分自身の生きるのを助けること,これこそ真の思いやりである。(アラン)

もし,友達が重い荷物をもっていたら,
もし,仲間があやまった道を歩んでいることに気づいたら,

肩をたたいて,声をかけてみようよ。

暗い世の中が明るく,輝くかもしれない。

歌手 グレン・キャンドル

わくわく発表会は,12月20日(土)

場所 カクイクス交流センター(県民交流センター)



“子どもたちが**主体的に参加する発表会**”(駐車場は,450台可能,施設利用**承認機**を通すと**2時間無料**,それ以上は,**30分150円**)

教師主導の発表会から子どもたちが考え創造する発表会へ転換を目指そうということになりました。

乳幼児での挑戦ですので「教師主導」に子どもたちが考え創造する場面を少しずつ増やしていこうと思います。今年はその第一歩の挑戦です。

(例) お遊戯のすべてを教師が教えるのではなく,一場面の「振り付け」を子どもたちが考え,試行錯誤すること

また,「場面ごとのセリフを子どもたちに作らせる。」ということです。

ただ,子どもたちが自ら考える場面は,年齢によって異なってくることや教師の修正がはいることもご理解ください。(可能な限りこどもたちの原案を尊重しますが,修正箇所等は,教師とこどもたちと相談しながらという学年もあると思います。)

秋の味覚「芋ほり遠足」



寺山の鹿大農園で秋の自然との触れ合い,土の感触,土の中に埋もれている「いも」の収穫の喜び等「いもほり遠足」で大切な体験をしました。手作りのお弁当も高原の涼風の中でおいしく食べていました。